

「悩んだ分、動きやすいしすぐに手が届くようになってるので、生活動線にすごく合った間取りになってます。」



Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.037
カムホームストーリー
黒潮町・Fさま邸
竣工:2011年12月
設計担当:岡本 理絵



「あんなに一生懸命やってくれた人はおらんね」

マイホームを新築したのは、Fさまご夫妻が結婚して10年目を迎えたころ。長年家づくりをしたいと考えていました。雑誌を見ていて「いいなあ」と目にとまるのは、自然素材を使ったやさしい雰囲気の家。いくつかの展示場を巡りましたが、「既製品の家ばかり…」と、どうしても魅力を感じられずにはいませんでした。7年前、タイセイホームの見学会に参加し、見た家に衝撃を受けた奥さま。「まさにこれ!」と、家づくりへの想いが加速しました。その後、資金の相談をしながら、自然素材を使ったかわいい家・カッコいい家、お施主様の思い思いの家を見て、徐々に建てたい家のイメージをハッキリさせていきました。

土地は、Fさまご夫妻がこだわった「海が見える」場所。「岡村さんは連絡したら快くすぐに来てくれて、広さとか日当たりとか、交渉もしてくれました」と旦那さま。「緊張して汗ばっかりかきよったけど(笑)、あんなに一生懸命やってくれた人はおらんね」と、当時入社して間もない岡村(お客さまサポーター)でしたが、熱心に寄り添ってくれる人柄が信頼につながったと言います。

「悩んだ分、生活動線にすごく合った間取りになってます」

海、サーフィン、レゲエ、アジアン、好きなものが統一している旦那さまがこだわったのは、アジア食堂「歩家」をイメージした和室。予算的に縁なしの畳は妥協しましたが、オーダーした引き戸や天井のアクセントクロス、美しい灯りの影を映し出す木の照明が、歩家のような味のある空間を演出しています。ここにお気に入りの木製サーフボードを飾り、一年前から始めたというギターを奏でたり、一番下の息子さんと男同士の会話をしながら寝たり、ささやかな日々の幸せを噛みしめています。

住んでみて気がついたことは、「外灯の位置と、コンセントの位置」。外灯はバーベキューをする庭から離れた位置にあるため、コンセントからコードを伸ばして灯りを灯しており、扇風機を置こうと思っていたところにもコンセントを確認しておいたら良かったと振り返ります。間取りには一番頭を悩ませましたが、「悩んだ分、動きやすいしすぐに手が届くようになってるので、生活動線にすごく合った間取りになってます」というFさま邸。少し変わったところは、キッチンまわり。背面に目隠しにもなり、かわいく見せられるR垂れ壁のパントリーをつくり、オープンヤトースター、食品などのストック類の置き場にして、キッチン横に食器や雑貨などをしまう収納家具を作りつけました。「うしろの調味料もストック類もすぐ取れる」と、今の使い勝手が一番しっくりきている奥さまです。

「家族が一つになれる」

「セットで考えるべき」だと話すのは、家と外構。家の中に集中しすぎるより、「外構が良ければ家ももっと良く見えるから」とアドバイス。そのためにはしっかりと勉強しておくことが大事だと話します。

住み始めて4年4ヶ月、キズや凹みも多く目立ってきました。「それよりも夏は気持ちがいいし冬は寒くないし、最高で」と床に目を落とし、やさしい笑顔を見せる旦那さま。どこにでも寝転がれる環境に、以前の住まいでは感じることはなかった「家族が一つになれる」ことがうれしいと話すFさまご夫妻。自然とこの家で家族と過ごす時間が長くなりました。お子さんたちとお菓子をゆっくりたり、並んで使える広いキッチンにご夫妻で立ったり…家を建てて良かったと感じる瞬間だと言います。広々としたお庭では、バスケット部に所属するお嬢さんのためにコンクリートをうってゴールをつけました。ここで練習に打ち込んだり、時には家族みんなで遊ぶこともFさまご家族の日常。暖かくなったらお庭の一角で家庭菜園もはじめる予定です。なにを育てようか、芽が出たね、もうすぐ収穫だね、また家族の笑顔が増えそうな予感。今から「収穫がたのしみ」だと話す仲のいいFさまご家族の暮らしです。